

科目名	演技研究 I						年度	2026	
英語科目名	Performance Study I						学期	前期	
学科・学年	声優・演劇科 1年次	必/選	必	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員	長谷川浩司	教員の実務経験		有	実務経験の職種		俳優		
【科目の目的】 舞台・映画・アニメーション・ゲーム等、様々なメディアにおいて必要な、キャストについて考察する。演技する者としての作品への関わり方を様々なジャンルの作品を通して、自分にトレースし、演技というものを理解する。この授業に参加する学生が、スキルアップの為にカリキュラム上組まれている科目についての理解度、芸能の世界においての必要性を理解することを目指す。									
【科目の概要】 映画、テレビ、舞台など、様々な作品に触れながら演技を研究実践する。									
【到達目標】 表現の手法の嗜好が偏らないよう様々なジャンルの有用性を考慮したうえで、声優・俳優として与えられた配役の役柄としての理解を深め、その為にどのような役作りをしていくべきかを考える力を持てるようにする。時代と共に変化をしていく演技法を、自己の表現の為に、外観改造、内心や心情を思索する等、様々な要素を役作りに取り入れ、声優・俳優の仕事に対して本質的な向き合い方ができる役者になることを目標にする。									
【授業の注意点】 授業において鑑賞した作品のレポートの提出は必須とする。作品内容（あらすじ）の理解よりも自分自身がどう思いどうしていくべきかを意見できることを評価・重要視する。恒常的出席が単位授与の基本原則である。授業時数の4分の3上出席をしない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	卓越した演技技術を持ち、深い理解と創造性で表現が豊かである。	高度な演技技術を理解し、自然で魅力的な表現ができています。	幅広い演技技術を理解し、感情や状況に適切に対応している。	基本的な演技技術を理解しているが、深みや多様性が欠けている。	初歩的な演技技術が不十分であり、表現が不自然である。				
到達目標 B	役柄への卓越した理解があり、独自の深い洞察と創造的アプローチで役柄を豊かに表現している。	役柄の深い理解があり、独自のアプローチが効果的に役柄に反映されている。	役柄の背景や心情を適切に理解し、自己のアプローチが役柄に統合されている。	役柄の基本的な特徴や心情を理解しているが、アプローチに一貫性が欠ける。	役柄の理解が不十分であり、自己のアプローチが明確でない。				
到達目標 C	自己表現が卓越しており、独自の洞察と創造性で表現が豊かである。	自己表現が豊かで多様であり、独自のアプローチが効果的に取り入れられている。	自己表現があり、役柄や状況に適切に反映されている。	自己表現が一部見られるが、多様性や独自性に欠ける。	自己表現や創造性が不十分であり、演技に深みがない。				
到達目標 D	映画の基本的な要素に対する卓越した理解があり、感情や意見が洞察的かつ印象的に表現されている。	映画の基本的な要素に深い理解があり、感情や意見が洞察的に表現されている。	映画の基本的な要素に関する理解があり、感情や意見が適切に表現されている。	映画の基本的な要素に関する理解があるが、まともが不十分。	映画の基本的な要素に関する理解が不十分。				
到達目標 E	遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い				
【教科書】 レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		演技研究 I			年度	2026
英語表記		Performance Study I			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	イントロダクションとしてミュージカルについて理解する	ミュージカルの基本的な特徴や歴史的背景、作品構成などを学ぶ。	1 基本的な特徴	ミュージカルの起源や歴史的背景の理解		
			2 構成と要素	構成要素（台本、音楽、振付など）の理解		
			3 演出と舞台制作	舞台制作プロセス、演出の役割の理解		
2	芸能のジャンルの一つとしてダンスを考察、それをモチーフにされている作品を鑑賞する	ダンスの考察、それをモチーフにされている作品を鑑賞する。	1 ダンスの基本的な要素	ダンスの基本的な要素を理解する		
			2 ダンス作品の鑑賞と解析	ダンス作品の表現や技術について評価する		
			3 ダンス表現の考察	ダンス表現の考察を理解する		
3	ダンスジャンルが違う作品を考察、それをモチーフにされている作品を理解する	ダンスジャンルの作品を比較・考察し、その特徴や表現手法を理解する	1 ダンスジャンルの作品の比較	代表的な作品の比較分析ができる		
			2 ジャンル作品の理解	ダンスジャンルの考察ができる		
			3 創造的な表現への応用	創造的なダンスの表現ができる		
4	芸能のジャンルの一つとして殺陣を考察、それをモチーフにされている作品を理解する	殺陣の基本的な技術、表現手法を理解する	1 殺陣の基本技術	殺陣の基本技術を理解できる		
			2 殺陣の表現方法	殺陣の技術や動きの特徴を分析できる		
			3 殺陣作品の鑑賞	殺陣作品の分析ができる		
5	日本映画の俳優の役作りについてを考察、実話に基づく作品描写を理解する	日本映画における俳優の役作りのプロセスを理解する	1 俳優の役作りのプロセス	役作りのプロセスや技術を理解できる		
			2 実話に基づく作品の描写	実話に基づく映画の分析ができる		
			3 役作りや挑戦の事例	役作りの特徴や制作プロセスを理解する		
6	海外作品の俳優の役作りについてを考察、実話に基づく作品描写を理解する	海外作品における俳優の役作りの手法やプロセスを研究	1 手法やアプローチ	俳優の役作りの手法やアプローチを理解する		
			2 映画作品の鑑賞	描写手法や演出の特徴を理解する		
			3 俳優の役作りを体験	演技技術や表現力を向上できる		
7	アニメーション作品を考察、声優と俳優について理解する	声優の役割や声の表現力、俳優との違いについて	1 作品毎の考察	アニメーション作品毎の考察ができる		
			2 声優と俳優の役割	声優と俳優の違いや共通点を理解できる		
			3 声優の表現力	声優の表現や声の使い方を理解する		
8	アニメーションの吹き替え作品を考察、声優と俳優について理解する	アニメーション作品における吹き替えの役割や技術について	1 役割分担	吹き替えの重要性と役割を理解する	3	
			2 声の使い方や表現力	役割に応じて適切な声を選ぶ能力を得る		
			3 吹き替えの考察	吹き替えの役割や技術を理解できる		
9	テレビ時代をにらんだ新たな演芸ビジネスモデルの舞台公演を考察、普遍的な舞台作品を理解する	テレビ時代の変化が舞台公演にどのように影響を与えているかを分析	1 演芸ビジネスモデルの変化	演芸ビジネスモデルの歴史的な変遷を理解する		
			2 舞台作品の分析	多様な視点で舞台作品を評価する能力を持つ		
			3 舞台作品の可能性	未来の演芸ビジネスモデルを展望できる		
10	ゲームから舞台化、ミュージカル化、アニメ化された人気作品を考察、それぞれの違いを理解する	ゲームから派生した作品の比較を通じて、作品表現の特徴を理解	1 アニメ化のプロセスの解説	アニメ化のプロセスでどのように表現されるかを理解		
			2 演出手法の比較	異なるメディアでどのように変化するかを理解する		
			3 観客との関わり	観客からのフィードバックを理解できる		
11	舞台から映画になった作品として考察、舞台作品と映画作品の相違点を理解する	舞台作品と映画作品の相違点を理解する	1 異なる表現手法	舞台演劇と映画の表現手法の違いを理解する		
			2 解説と事例の比較	メディアでのストーリー構造の特徴を把握する		
			3 視覚的・空間的要素	視覚的・空間的要素と音響の違いを理解する		
12	原作から複数の作品が作られていることを考察、リメイク作品により描写の違い等を理解する	原作とリメイク作品を比較し、それぞれの表現手法や描写の違いを分析	1 原作とリメイク	原作とリメイク作品の違いや共通点について比較する		
			2 表現手法	原作とリメイク作品の表現手法の違いを理解できる		
			3 社会・文化的背景	作品の社会・文化的背景の違いを理解できる		
13	別ジャンルからの映画化について考察、海外作品としての違いを理解する	映画化される際の表現手法や制作背景を探究	1 制作プロセス	作品が映画化される際のプロセスや手法を理解		
			2 映画化のスタイル	日本と海外の映画化手法の違いを理解できる		
			3 映画化の背景	日本と海外における映画化の背景を理解できる		
14	洋画のリメイク作品を考察、日本と海外の作品の描写の違いを理解する	洋画のリメイク作品と日本のオリジナル作品の描写の違いを分析	1 制作背景	リメイク作品の基本的な特徴や制作背景を理解できる		
			2 作品描写の違い	リメイク作品の描写の違いを理解できる		
			3 リメイクの考察	洋画のリメイク作品を考察できる		
15	全体のまとめ	演技の理論や技法を総合的に理解し、それを実践的に活用	1 演技理論の学習	演技理論を理解できる		
			2 自己表現の重要性	自己表現の技術を向上させることができる		
			3 演技の研究	演技の理論や技法を総合的に理解できる		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						